

努力と勇気でチャンスをつかむ

競争を生き抜く代理店

TEL06-6282-6488(代)
<http://www.j-thinktank.com/>

法令遵守の契約形態に

偽装請負で派遣業界襟を正す

人材派遣業の業界大手企業が廃業した。昭和61年までの従来法（職業安定法）では、禁止された「私的な労働者供給事業」に当たる「違法行為」が理由でした。

余談ですが、昔は、僕

その一端が今マスコミで騒がれている「偽装請負」です。本来、「派遣」と「請負」では、企業側の責任も指揮命令系統も全く違います。派遣会社が襟を正しくもクライアント企業も正規雇用の促進が加速しました（経済的背景もあり）。

法ができ、派遣会社が躍進した一方で、労働者の賃金は下降傾向をたどりました（経済的背景もあり）。

法遵守の上で、朝早くは休憩食を締め渡していく労働者のたくさんいる街たのが実態でした。

「」などと声をかけ、人
数集め車で建設現場へ出
発！　いわゆる「人工田
舎」と呼ばれる「ピン撥
し」と仕事生業とする人
が存在しました。

分をグレーに薄めた契約
形態が急成長を下支えし
て来たという面もあり、
この一連の事件を受け、
業界各社は原則通り、法
令遵守の契約形態に戻さ

労働者の権利を守りながら、労働業態の多様化を図るべく、昭和61年『人材派遣業法』が誕生(施行)、業務として合法化され、今まで数々の人材派遣会社が出現し、急成長してきました。急速成長の背景には、違法部分をグレーに薄めた契約形態により各社競つて契約獲得し、クライアント企業に派遣をしたことが大きな要因だといわれています。

得意な業界の変化や法律などに注目

争奪保険マーケット

生保業第一線(83)

<171>

紹介で訪問したもの…

治療しながら芽生える契約

ターと、串かつ屋の常連さんが惣菜屋を経営しているダイコクヤのおばちゃんがいました。

言葉を交わせば、「誰か保険の話聞いてくれる人紹介して下さいよ」の私の投げかけに、いつもは「そんな人知らんない」と返して来るのに、今回は違った。

「今日ははえらく真剣な顔してやないか…困つてますか?」

2人の口から出た名前は、「あおぞら整骨院」偶然にも私と同じ名前だった。

一度目の訪問で假プレゼントをした。次から次に質問が飛んできた。私自身、好感を持った。

「いかがですか?」との質問に、「保険料をいくら出せるか妻と相談するよ。検討するから少し時間を下さい」

1週間が過ぎた。連絡なし。2週間が過ぎた。依然連絡なし。当方より連絡を入れた。

「検討するって言ったでしょ!」

このままで時間だけが過ぎてしまうことに危惧を覚えた私は、整骨院の方からも優しい言葉を

に体のケアに行くことを決め、保険証を持って通院した。

「何しに来たのですか?」

私が体に異常を感じ始めたのは、それから暫くしてのことだった。首から肩にかけて激しい痛みに襲われ、それでも痛み止めを飲んでるうちに自然に治るだろ?と思いつけ普段どおり営業活動を続けた。やがて左腕にしびれを感じ始め、痛みを取り除いてもらうべく、今度は患者としてあおぞら整骨院の扉を叩いた。

「今日はどうされました」

されました

「ありがとうございます」

症状を確認し

た先生の治療がスタートした。「2~3日毎日通つてみてください。様子を少しみましょう。毎日来れますか?」

毎日通い始め、診察台の上で患部の治療を受けながら、徐々に冗談を交わすようになつた。助手の方からも優しい言葉を

かれて心地いい通院が楽しめ、和らいできた痛みがなくなった。

仕事の関係で3日ほど治療を受けなかつた間に見直され、一通りの治療を終えた私の足取りはひどく重たいものになってしまった。

その日も電気治療の後、先生の問診と治療が始まつた。うつ伏せ状態の私の背中に、「瀬戸内さん、聞こえていてますか?」

「はい。聞こえています、なんでしょうか?」「まだ、ハッキリと確定したわけではないんですけど…どうやら2人目ができる…どうやら2人目ができますか!」「そうなんですか!おめでとうございます。いつが予定日なんですか?」

「来年の2月なんですね」「それは楽しみですね」

「お願いがあるんですよ。」

「ありがとうございます」

「お気持ちはありがとうございます。喜んで相談に乗りますので…痛みが消えるまで少しの間、待つ